

ベルな高齢化率と言えます。地区でみると、人口の多かった中心市街地、あるいは逆に少なかった郊外地の高齢化率が高くなっており、地区全体としての様な対策を行うか考える時期が来ていると思います。

日本全体では462万人が認知症患者であり、その予備軍も400万人おられます。これらの方が何らかの医療・治療を受けている状況にあります。更に少子高齢化でありますので、介護保険制度を使用される方がどんどん増えてきます。勿論、足利市も同様です。

認知症とは

認知症とは、脳の細胞が働きを失うことにより生活に支障が出てくる状態のことです。記憶力障害を主体としており、多くの原因がアルツハイマー型やレビー小体型、脳血管性障害などがあります。これが「現代のらい病、結核」などといった誤解や偏見を生む病気の代表格になりつつあります。

「認知症」が疑われるのは、物忘れなどの記憶障害、時間や季節の感覚がなくなる見当識障害、同時に複数のことができなくなる理解・判断力の障害、計画を立てたり、片付けができなくなる実行機能障害などがあります。

三大認知症の特徴

| | アルツハイマー型 | レビー小体型 | 脳血管性 |
|-----|----------------------------|------------------------|----------------------------|
| 症状 | ・もの盗られ妄想 ・とりつくり ・徘徊等 | ・自律神経症状 ・幻想 ・妄想等 | ・まだら認知症 ・手足のしびれ ・麻痺等 |
| 男女比 | 女性に多い | 男性がやや多い | 男性に多い |

早期発見

足利市をはじめとして、高齢化率を急速に下げることが不可能です。そこを逆に上昇していきます。

これに対応するためには、一人ひとりが『なりたくない病気にならない』ために、最低限必要な薬を除き薬に依存することなく、個人個人ができる範囲で健康維持を実行することが非常に大切であると考えます。

年齢を重ねていく上では、なるべく一人にならずに、多くの人と会って話をするのが大切です。早期発見に努めましょう。治療ができる「認知症」

もあります。準備ができるもの、進行を遅らせることのできる「認知症」もあります。

「認知症」の人に対する対応の基本は、その状況を理解することであり、援助者がイライラすれば相手のイライラをよびます。援助者が相手に共感し、理解し、優しく接すれば、安心感につながります。

もし、「認知症かな？」と疑いを持つたなら、まずは、かかりつけ医にご相談ください。認知症疾患医療センターで専門的な検査が受けられます。地域包括支援センターや認知症サポート医制度もありますので、あきらめず、早めにご相談ください。患者さんを隔離するのではなく、地域とともに発展・生活できる体制をつくらなければならぬと思います。ぜひ、担当の医師や看護師にご相談ください。

映画「あん」上映会

母お手製の美しいブラウスに心を躍らせ、兄に連れていかれた所は、彼女から全てを奪う場所だった。青春と自由、さらに授かった「命」まで。

この映画は、「ハンセン病」差別問

題だけでなく、隔離された世界に生きてきた人の目を通して、現代社会の生き辛さを鮮明に描き、一見普通に生活しているように見えても、心の片隅に闇を抱えて、自分で作った垣根の中で苦しみ、もがいている人たちがいることに眼差しを向けている。

お節介でマイペースな徳江は、ある日ぶらりとやって来て、千太郎に言葉をかけ続ける。千太郎は、過ちから借金を作り、返済のノルマである「ごら焼き」を淡々と作り続けている。中三のワカナは、「母子家庭」。自分勝手な母親に失望している。そんな三人が見えない糸で手繰り寄せられるように出会い、関わり合っていく……。

深い悲しみを背負った心に、一石を投じるのは、辛い経験を乗り越えてきた人の寄り添う思いである。幸福と自由を象徴するかのよう美しい桜の映像と、千太郎の呼び声に切なさを掻き立てられた。

(T・M)

